

# 安城市内景況調査結果 (2022年10月～12月)

<全業種において厳しい見通しがみられる>

1. 調査対象 対象企業数 会議所役員・会員事業所 100企業
2. 調査対象時期 2022年10～12月期  
(1)前年同期(2021年10～12月)と比べた今期の状況  
(2)今期と比べた来期(2023年1～3月)の先行き見通し

### 3. 企業数内訳

	製造業	小売・卸売業	建設業	サービス業	その他	計
企業数	23	24	21	23	9	100
構成比	23.0%	24.0%	21.0%	23.0%	9.0%	100.0%

安城市内の今期の業況判断DIを詳しく見ると右記の表のとおり、△10.1ポイントとなり、業況が悪化していることが分かる。また、すべての業種において来期の業況判断が悪化していることから、今後さらに厳しい状況が続いていくのではないかと考えられる。

	前年同期比 (前 回)	前年同期比 (今 回)	来期の 見通し
業況判断	△4.0	△10.1	△33.3
売上高	△1.0	△4.1	△27.3
売上単価	△16.2	△13.1	△22.4
資金繰り	△5.1	△13.4	△15.3
借入難度	△3.1	△6.3	△9.5
収益状況	△19.4	△23.7	△32.3
雇用人員	△4.0	△8.2	△1.1

凡例▶

30以上 10を超える 10～△10 △10を超える △30以上

		全 産 業											
		製 造 業		小 売 ・ 卸 売 業		建 設 業		サ ー ビ ス 業		そ の 他			
前 年 同 期 対 比	業 況 判 断	△10.1		△30.4		△12.5		△4.8		4.3		0.0	
	売 上 高	△4.1		△4.3		△20.8		△4.8		13.0		0.0	
	売 上 単 価	△13.1		△17.4		4.2		△28.6		△17.4		0.0	
	資 金 繰 り	△13.4		△39.1		△8.3		△9.5		0.0		0.0	
	借 入 難 度	△6.3		△21.7		4.2		△4.8		△4.3		0.0	
	収 益 状 況	△23.7		△47.8		△16.7		△23.8		△4.3		△22.2	
	雇 用 人 員	△8.2		4.3		△8.3		△23.8		0.0		△22.2	
来 期 の 見 通 し	業 況 判 断	△33.3		△26.1		△45.8		△38.1		△21.7		△33.3	
	売 上 高	△27.3		△13.0		△41.7		△33.3		△21.7		△22.2	
	売 上 単 価	△22.4		△4.3		△20.8		△52.4		△13.0		△22.2	
	資 金 繰 り	△15.3		△4.3		△16.7		△19.0		△21.7		△11.1	
	借 入 難 度	△9.5		△4.3		0.0		△19.0		△13.0		△11.1	
	収 益 状 況	△32.3		△21.7		△41.7		△47.6		△8.7		△44.4	
	雇 用 人 員	△11.1		13.0		△12.5		△38.1		0.0		△33.3	

※DIとは、「ディフュージョン・インデックス」(景気動向指数)の略で、各調査項目について「増加」(好転、やや好転)した企業割合から、「減少」(やや悪化、悪化)した企業割合を差し引いた値である。例えば、売上で「増加」25%、「不変」60%、「減少」15%の場合のDIは、25-15=10となる。

今後も、四半期ごとに景況調査を実施いたしますので、ご協力の程よろしくお願いたします。  
なお、詳しい指標は、当所ホームページの「景況調査」のページをご覧ください。